



# 治田小 地域だより

令和7年11月号

回覧

## 「みんなが幸せに」～いつも支えてくださり、ありがとうございます！～

「朝、子どもたちの大きないさつを聞くと、こちらも元気をもらえる。」これは、先日行われた「学校運営協議会・治田コミュニティ合同会」で、ある委員さんが、登校の見守りについてお話しくださったときの言葉です。今回の合同会では、これまで地域の方々にご協力いただいている活動について、委員の皆様からご意見やご感想をいただきました。どのご意見からも、「治田の子どもたちの成長や学びのために何かできることがあれば」とお力を貸してくださっていることが伝わり、学校として改めて地域の皆様に感謝の思いをお伝えさせていただきました。来年度以降も、地域の皆様にご協力を願いしたい活動につきましては、学校として今年度中にそれぞれの活動の成果と課題を見直していきます。その中で、地域の皆様にも「行ってよかった！」「うれしかった！」「楽しかった！」と思っていただけるような、子どもたちも、教職員も、地域の方々も『みんなが幸せになれる』活動を目指していきます。

11月13日には、入会権組合・治田財産区の方々にお世話になり、寺山で「アスレチック体験」をしました。このアスレチックは、みんなが前日に半日かけて手作りで作っていただいたものです。1, 2年生の児童たちは5つのアスレチックを、グループに分かれて楽しみました。2年生にとっては1年ぶり、1年生にとっては初めての体験で、写真からも分かるよう



に、「早くやりたい！」と順番を待つのもワクワク、ソワソワしながら、夢中で楽しんでいました。この「寺山探検」も、これまで20年以上続けてお世話になっているそうです。また、ロープを支えている桜の木々は、50年ほど前の治田小の児童が（「てらやま」と桜で彩られるように）植樹したものだと聞きました。毎年お世話になっている一つの取組にも、歴史やお力を貸し頂いている方々の【想い】が込められていることを知りました。寺山は治田の方ならいつでも遊びに行ってよいとのこと、夏はカブトムシもたくさんいるそうです。今回の体験を通して、子どもたちがより寺山を身近に感じ、治田をさらに好きになってもらえた…子どもも、学校も、地域も

『みんなが幸せになれる』この取り組みを今後も続けていけるよう、地域の皆様にお力添えいただきますよう、よろしくお願ひします。



今年も5年生家庭科・ミシンの授業で学援隊の方々にお世話になりました！